



おうからんまん
桜花爛漫

【写真】左上から時計回りに▷駿遠橋から(家山)▷沿道の桜(家山)▷大津谷川堤防(旭二丁目)▷蓬萊橋から(阪本)▷石畳(金谷坂町)▷桜橋から(御請)

3月4日 | もえぎ色の茶園に咲く笑顔

初倉地区阪本のハウス茶園で、静岡県内のトップを切る新茶の初摘みが行われました。

この日、農家の主婦ら17人が参加。太陽熱を利用して温度管理されたハウス内で、極早生品種の「あさつゆ」の新芽70kgが、手際良く丁寧に摘み取られました。

4月中旬からは、露地物の摘み取りも始まり、いよいよ本格的な新茶シーズンを迎えます。



3月24日 | 山里の春を五感で満喫

伊久美農産物加工体験施設「やまゆり」で、山の幸を味わいながら楽しむ「旬の市」が開かれました。

この日は、地元の食材を使った「山の駅弁」と一緒に、山里を訪れた春を満喫しようと、多くの人が来場。7種類の駅弁は、約1時間で完売するほどの人気でした。

各種屋台が並ぶ会場横では、東京農大生が「大根踊り」を披露し、イベントを大いに盛り上げてくれました。



3月17日 | 世界に広げる交流の輪

近隣市町で暮らす外国人との親睦を図る「フレンドシップパーティ in みんな」が、金谷公民館で開かれました。

島田市国際フレンドシップ協会の呼び掛けで、外国人約130人と日本人約80人が参加。九つの国と地域の伝統音楽や民族舞踊を楽しみ、互いの文化への理解を深めました。その後のゲームやビンゴでは、人種や国籍を超えて一緒に盛り上がり、会場は笑い声に包まれました。



3月20日 | 山々に響く太公望たちの声

伊久美地区のヤマメ釣り施設「やまめ平」で、恒例の釣り大会が開催され、多くの親子連れなどでにぎわいました。

25周年を迎えた今年は、県内外から約120人が参加。思い思いの場所に釣り糸を垂らし、制限時間60分の間に、次々とヤマメを釣り上げました。最多釣果は49匹。中には41cmもの大物を釣り上げた人もいました。同施設では11月末まで、溪流釣りの雰囲気を楽しむことができます。

